

# 1 あらかじめ見たルデヤ

使 16:15 そして、彼女も、またその家族もバプテスマを受けたとき、彼女は、「私を主に忠実な者とお思いでしたら、どうか、私の家に来てお泊まりください」と言って頼み、強いてそうさせた。

## 1. 神様が備えられた弟子

- 1) 名前の意味 - 生産
- 2) ヨーロッパ最初の聖徒
- 3) テアテラ出身
- 4) 紫布の商人

## 2. 使徒の働き 16 章 6 ~ 10 節以降の出会い

- 1) 使 16:11
- 2) 使 16:14
- 3) 使 16:15

## 3. 以降に起きたこと

- 1) 使 16:16 ~ 18
  - 2) 使 16:19 ~ 40
  - 3) ビリヂ教会
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 

# 2 あらかじめ見たヤソン

使 17:6 しかし、見つからないので、ヤソンと兄弟たちの幾人かを、町の役人たちのところへひっぱって行き、大声でこう言った。「世界中を騒がせて来た者たちが、ここにも入り込んでいます。」

## 1. 神様があらかじめ備えられた弟子

- 1) ヤソン - 救いのいやし
- 2) テサロニケ人
- 3) パウロが第 2 次伝道旅行のときに留まった家
- 4) パウロとシラスの代わりにしばらく投獄

## 2. 現場で起こったこと

- 1) 会堂<sup>使 17:1</sup>
- 2) 規定<sup>使 17:2</sup>
- 3) ギリシヤ人、貴婦人<sup>使 17:3~4</sup>
- 4) キリストの当為性を証拠
- 5) 残りの者ヤソン

## 3. 以降に起きたこと

- 1) I テサ 1:3
  - 2) I テサ 1:5
  - 3) I テサ 5:12 ~ 22
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
-

# 3 あらかじめ見たプリスカ夫婦

使 18:1～4 その後、パウロはアテネを去って、コリントへ行った。ここで、アクラというポント生まれのユダヤ人およびその妻プリスキラに出会った。クラウドオ帝が、すべてのユダヤ人をローマから退去させるように命令したため、近ごろイタリアから来ていたのである。パウロはふたりのところに行き、自分も同業者であったので、その家に住んでいっしょに仕事をした。彼らの職業は天幕作りであった。パウロは安息日ごとに会堂で論じ、ユダヤ人とギリシヤ人を承服させようとした。

## 1. 神様が備えられた永遠の弟子

- 1) プリスカ - 老いる、古風
- 2) パウロの生涯の同労者 (ロマ 16:3)
- 3) 夫より先に用いられた者 (使 18:18)

## 2. 現場で起きたこと

- 1) 使 2:10
- 2) 使 18:1～4
- 3) 使 18:24～28
- 4) 1 コリ 16:19
- 5) ロマ 16:3～4

## 3. 以降に起きたこと

- 1) 会堂運動
- 2) 地教会運動
- 3) ローマ福音化

# 4 あらかじめ見たガイオ

ロマ 16:23 私と全教会との家主であるガイオも、あなたがたによろしくと書いています。市の収入役であるエラストと兄弟クワルトもよろしくと書いています。

## 1. 神様の絶対主権の中で備えられた弟子

- 1) コリント人
- 2) 影響力をもった人
- 3) パウロにバプテスマを受ける 1 コリ 1:14

## 2. 現場で起きたこと

- 1) 経済を福音のために使った人物
- 2) パウロの家主
- 3) すべての伝道者の家主

## 3. 以降に起きたこと ロマ 16:23

- 1) チーム構成
- 2) 伝道のための企画
- 3) ローマ福音化の隠れたチーム